

嚥下内視鏡検査:説明と同意書

【病名・症状】摂食嚥下障害 []

摂食嚥下障害とは食べ物や飲み物が上手に飲み込めなくなる障害です。様々な原因で起こり、誤嚥（気管内に飲食物が入ること）、誤嚥性肺炎、窒息、脱水、栄養障害などにつながることがあります。

1.今回の検査目的: 食物が通過するのどを観察し、のどの形や動き、感覚に異常があるかどうかを調べ、嚥下障害の原因や予防法を検討します。

2.検査の具体的な方法: 検査を行うにあたり、ゼリーのような食べ物や水分を用意します。潤滑剤や局所麻酔薬を使用して、鼻から細い管（内視鏡）を入れて、のどを観察します。その状態で用意した食べ物や水分を飲み込んでもらいます。声を出したり、咳ばらいをしていただき、のどの状態の変化を調べます。

3.今回の検査に伴う合併症

①鼻から入れた内視鏡による**違和感**があります。検査中に嚥下をしていただくので、それにより**誤嚥**を起こすことがあります。

②誤嚥が起こった場合はすぐに吸引などの適切な対応を行いますが、まれに発熱や**誤嚥性肺炎**が起こることがあります。

③注意深く行っても緊張や検査の刺激でまれに**失神**を起こすことがあるといわれています。

④鼻やのどや声帯に**傷がつく**ことがあります。

⑤検査に使用する麻酔薬や検査食品による**アレルギー反応**が起こることがあります。

問題が生じた場合は適切な方法で対応します。

4.費用について: 治療費は合併症が発生した場合も含め、健康保険の適応となります。

5.撤回と保留: 検査の説明を聞かれて、同意されない場合は保留や中止することも可能です。

以上、説明を受け納得しましたので同意し署名します。

_____年 _____月 _____日

患者氏名 _____

患者代理人氏名 _____ 続柄 (_____)

同席者氏名 _____ 続柄 (_____)

説明医師氏名 _____

同席看護師氏名 _____

※署名後、コピーして患者・家族に1部渡し、原本は入院録に保存